

30歳から始める

ドリフト

目指すは三十路の星!

修練塾



photo—黒澤英介 report—佐藤 圭
撮影協力—エビスサーキット

番外編 マサの エビス集中特訓

おいつす、ドリフト塾の講師、村尾チンゴだ。今回は、なんと坂東マサがドリフトの大会に出るっていうんで番外編でお送りするぞ。

どんな大会かっていうと「ORC オールスタードリフトドリムマツチ」という本格的なヤツ。参加選手はGTDドライバーやクルマ好きで知られる芸能人、それに有名チューナーと、そうそうたる顔ぶれなんだ。ところで坂東マサは……有名チューナーに入るのかというツツコミはここではしないことにしよう。

して恥をかかせるワケにはいかない。ってことで今回は、竹ちゃんには悪いが坂東マサをマンツーマンで鍛え上げることにしたのだ。

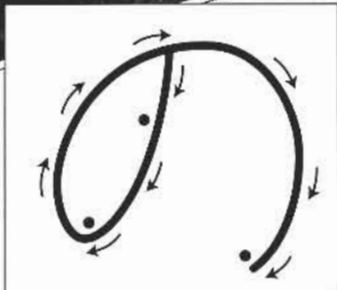
大会ではエビスサーキット西コースの1コーナーから2コーナーまでが審査ポイントになる。ところが坂東マサは、これまで2速のドリフトなんて試したことすらないじゃん、というワケで最初は、パイロンで自由にコースを設定できる「くるくるランド」にて特訓だ。

「くるくるランド」は今までと同じく平らなコース。ここでは、コーナー出口で左右に振られずまっすぐ立

坂東マサ、なんと大会デビュー決定! でも……今のままじゃ～ヤバくない!?



チンゴ先生の秘策は「の」の字! スムーズな立ち上がりを目指そう



最初に教えたのは、コーナーを想定して立ち上がる練習だ。スペース的に1速でしかできなかったんだけど、最初は1速のほうがいいかもね。2本のパイロンを使った円旋回ができるようになったら、パイロンをもう1本用意する。そして、上の図のような「の」の字を描けるように、パイロンを円の外側に設置しよう。アクセルターンから徐々に円を大きくしながら、外側のパイロンに向かって立ち上がる。このとき大切なのは、アクセルを少しずつ戻していく作業だ。いきなり戻せば逆方向に振られてしまうし、踏み放しだとスピンしちゃうからね。あくまでもいいに、ゆっくりと戻していこう。と同時にステアリングを戻すのも忘れずに! とにかく、ステアリングさえニュートラルでいればクルマは安定するからね。坂東マサも最初はアクセルをいつ戻すのかわからなかったみたいだけど、なんとかコツをつかんだようだ。うん、これだけできたならギリギリ合格点といえるだろうな!

今までは円旋回しかやっていなかったけど、コースでのドリフトでは立ち上がりが重要だ。そこで、クリップ(ここではパイロン)に向かってステアリングとアクセルを戻しながら、クルマの姿勢を整えることを覚えさせるといいワケ。ステアリングを戻すのが遅れてしまう人が多いので、注意して練習しよう。



▲ところどころに水たまりがあつて難しかったかも。タイヤがぬれるとグリップ力が落ちるからね、でも、意外に早く慣れちゃった!



▶チンゴ先生の指示どおり、今回はフロントにハイグリップのネオパを履いてきた坂東マサ。今回、驚異的にレベルアップしたのは、タイヤの影響も大きいかもしれないぞ!

ようやく「初級クラス」を卒業!

立ち上げる方法をたまたま見んだ。パイロンを2つ並べて置き、少し離れた位置にもう一本を置く。最初の2本を1速で回って、3本目のパイロンに向かって立ち上がる。ひらがなの「の」を描く感じだね。詳しくは左の解説を読んでもらうとして、次は「スクールコース」での練習だ。最大の目標は、2速のスピードに慣れるってこと。今までは1速の円旋回しか経験がないんだけど、縁石で囲まれた大きめの「島」を使って2速でやらせてみたんだ。1速より円が大きくて、おまけにスピードも乗るのでコントロールが難しい。そしてドリフトのきつかけ作りとして、クラッチ蹴りも覚えさせた。しかし、カンタンとはいっても蹴るタイミングを間違えるとアンダーが出てしまうので、シッカリ前

に荷重をかけた状態で蹴るように! さて、気になる坂東マサの成長ぶりには...? 結論からいうと、1日半の練習でそれなりのカタチになっちゃったんだよ! 速度は遅いし失敗することもあつたけど、これまでの坂東マサとは思えないほどの上達。さあ、コレでできることはすべてやった。いきなりの大舞台になつたけど、練習の成果を見せてやれ!

ついに封印していた「2速」が解禁! 果たしてスピードに順応できるのか!?



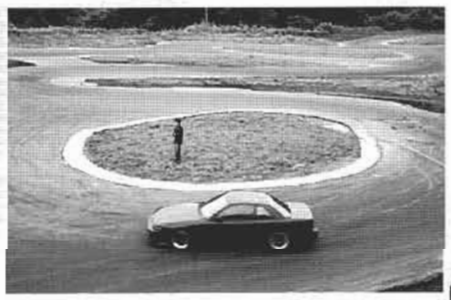
フラットな路面の「スクールコース」は進行方向などが決まっておらず自由にコースがレイアウトできるので、そ

ここで2速で円旋回をやらせてみた。出場する大会は停止状態からスタートするワケじゃないので、リヤを流すきっかけも教えないとね。

ビギナーでも楽なのはクラッチ蹴りかな? 2速でグルグルと走りながら、アクセルを軽く戻してフロントに荷重を乗せる。その状態でクラッチを軽く蹴れば、あっさりリヤがブレーキしてくれるはず。それができたら、上と同じく「の」の字で立ち上がる練習だ。

坂東マサはというと、これまたうまくできちゃった。さすがに最初はスピンも多かったけど、だんだん手と足を動かすタイミングが合ったのが見えてもよくなる。立ち上がりで振られることもなく、キレイにドリフトできるようになったんだ。すごいぞ、坂東マサ!

ここでは2速で円旋回をやらせて、速いスピードに体を慣れさせることが最優先。それができたら、クラッチ蹴りによるドリフトのきつかけ作りだ。コースに出るのは初めてなので怖いとは思うけど、クルマを操る操作は今までと同じ。落ち着いてコントロールすれば、とくに難しくはないはず!



▶初めてコースに出ることもあつて、ちよつと緊張気味の坂東マサ。そんなに硬くなつていたら、スムーズな操作なんてできないぞ!

▼エビスサーキットは、北/峠/スクール/ドリフトランドの4コースが1日5000円で走り放題! ドリフトの特別にはピッタリだ。

▼チンゴ先生によるマンツーマン指導の成果は絶大! アクセルとステアリングの操作も、前回までとは別人のように正確になった。



2速でも余裕でできた! やっぱオシって天才!



チンゴ先生もビックリの急成長!

